

15 鈴峰地区地域づくり協議会



今回紹介するのはこの3つの事業！

鈴峰地区は市内西部に位置し、小岐須町、小社町、長澤町、伊船町、伊船町東の5つの自治会からなる世帯数およそ1,100世帯の地区です。地区内には鈴鹿山溪や桃林寺、鈴鹿ICなど様々なスポットがあります。地域づくり協議会は、平成30年に設立されました。左の写真は、鈴鹿の山々を背景に、「歩け歩け大会」に参加する地域の方で、300人以上が参加しました。

鈴峰地区地域づくり協議会は、文化部、福祉部、安全部、産業部の4つの部で構成されます。地域づくり研修生である私たちは、文化部、福祉部、安全部に参加させていただき、地域づくりの活動を近くで見てきました。今年度、それぞれの部会で行った事業を紹介します。

1 文化部

取組①「冬休み書初め教室」

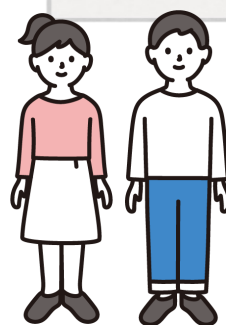
12月24日、鈴峰公民館で「冬休み書初め教室」が開催され、深伊沢小と椿小の3年生合計9人の児童が参加しました。墨のすり方や鈴鹿墨について学んだあと、課題の「正月」に挑戦。講師の近藤泰典先生の助言を受けながら何枚も練習を重ねると、最初に書いたものと比べ、格段と上手になっていました。

小学3年生から書写の授業が始まり、冬休みの宿題に「書初め」が加わります。宿題を早く片付けて、冬休みを満喫してほしいという思いのもと、宿題応援教室として、協議会設立前から継続して開催されています。

難しかったけど、先生に教えてもらいながら楽しく宿題ができて良かった！



墨のすり方を学ぶ児童の様子



墨をすったのは初めて。鈴鹿で墨がつくられていることを初めて知った！

参加した児童

2 福祉部

取組②「縁助い鈴峰」



福祉部会の様子

同じ地区内の困りごとを抱えている人を支援できてうれしい！高齢者だけでなく他の世代の困っている人の支援もしていきたい。困ったことがあればいつでもお声がけください！

高齢化率の上昇から、鈴峰地区では生活面に困りごとを抱える高齢者の方が増えてきています。そこで、住民の方を対象にアンケートを実施し、結果をもとに住民同士で助け合える組織の立ち上げを検討することとなりました。

毎月第2火曜日に、鈴峰公民館にて福祉部会を開催し、生活支援サービス「縁助い鈴峰」の運営について検討しました。主に一人暮らし高齢者が住み慣れたまちで安心して暮らしていけるよう、日常生活のちょっとした困りごと（ゴミ出し、剪定作業など）を支援できる組織を目指しています。



福祉部の皆さん

3 安全部

取組③「小岐須町 防災訓練」

12月15日、小岐須町公民館で小岐須地区の市民を対象とした「防災訓練」が行われました。56名が参加し、車両を使った地震体験や実際の火災を想定した煙体験を実施して、地域の防災意識の向上に繋がりました。

市民の防災意識を向上させるために、防災訓練を実施しており、年度ごとに各地区の持ち回りで避難訓練を行っています。

高齢者世帯の避難について、想定以上に避難に時間を要する等の課題を発見することができました。

高齢者世帯の避難については、複数人で安否確認する等の対応をしていくことで、迅速に避難を行えるようにしていきたい。
(参加者の声)



地震体験車の様子



救命講習の様子

問合せ先 鈴峰地区地域づくり協議会 事務局

住所：鈴鹿市伊船町1009番地の5（鈴峰公民館内） 電話番号：059-371-1747（鈴峰公民館）